

来年度の取組について

令和6年度 第2回 厚生労働省のEBPM推進に係る有識者検証会
(令和7年2月13日)

厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室

令和7年度のEBPMの実践について

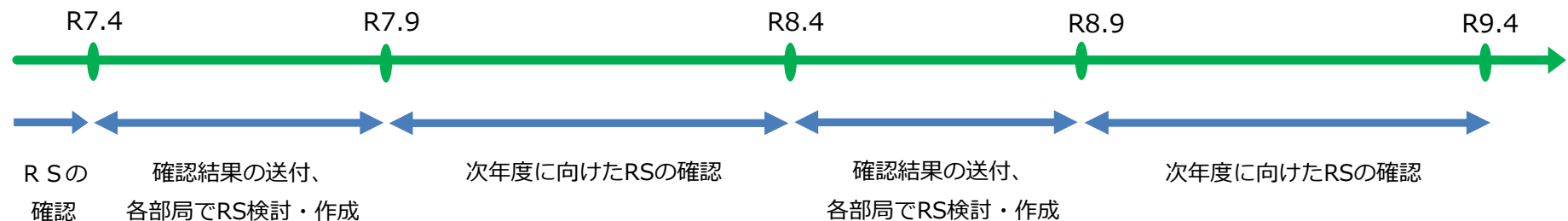
※毎年度作成される政府方針を踏まえ、取組方針の変更があり得る

- 予算事業については行政事業レビューシート（以下「RS」という。）を活用し「基礎的なEBPM」を実践する。
- 全てのRSを対象とした職員による簡易チェック及び特定のRSを対象※¹とした専門家による詳細チェックを実施し、RSの品質管理を進める。
- 過年度のEBPM実践事業については、ロジックモデル等の内容を更新するなどして取組を継続する。※²
- 優良事業改善事例の選定など、その他の取組については、政府の方針に沿って対応していく。

※¹ 既存事業に関しては1億円以上の事業の中から100事業程度、新規事業に関しては10億円以上の事業を対象

※² 重点フォローアップ事業に対する支援については令和7年度まで、効果検証対象事業の効果検証については令和8年度まで取組を継続する予定

<簡易・詳細チェック>



令和7年度のEBPMの実践にかかる各取組について

EBPMよろず相談所

- 毎週1回（令和7年10月以降は隔週1回）、1回あたり2時間、EBPMよろず相談所を開設。専門家を配置し、各部局の職員から寄せられるEBPMに関連する相談に専門的知見を活用しつつ対応を行う。（令和7年4月～令和8年2月）

行政事業レビューシートの確認

- 全ての行政事業レビューシートについて、「現状と課題」欄が具体的なデータを用いて論じられているか、長期アウトカムが適切に設定されているかなどについて、生成AIの活用も視野に入れて、職員による簡易チェックを行う。（令和7年9月～令和8年3月）
- 概算要求額が1億円以上の事業の中から100事業程度、新規事業に関しては10億円以上の事業を対象として、行政事業レビューシートの記載内容について、専門家による詳細なチェックを行う。（令和7年9月～令和8年3月）

過年度の重点フォローアップ事業への支援・助言

- 令和5年度のEBPM実践事業から選定された5事業について、専門的立場からロジックの整合性、適切な指標取得、効果検証を見据えた改善点等について助言を行う。（令和7年6月～7月、令和7年12月～令和8年1月）

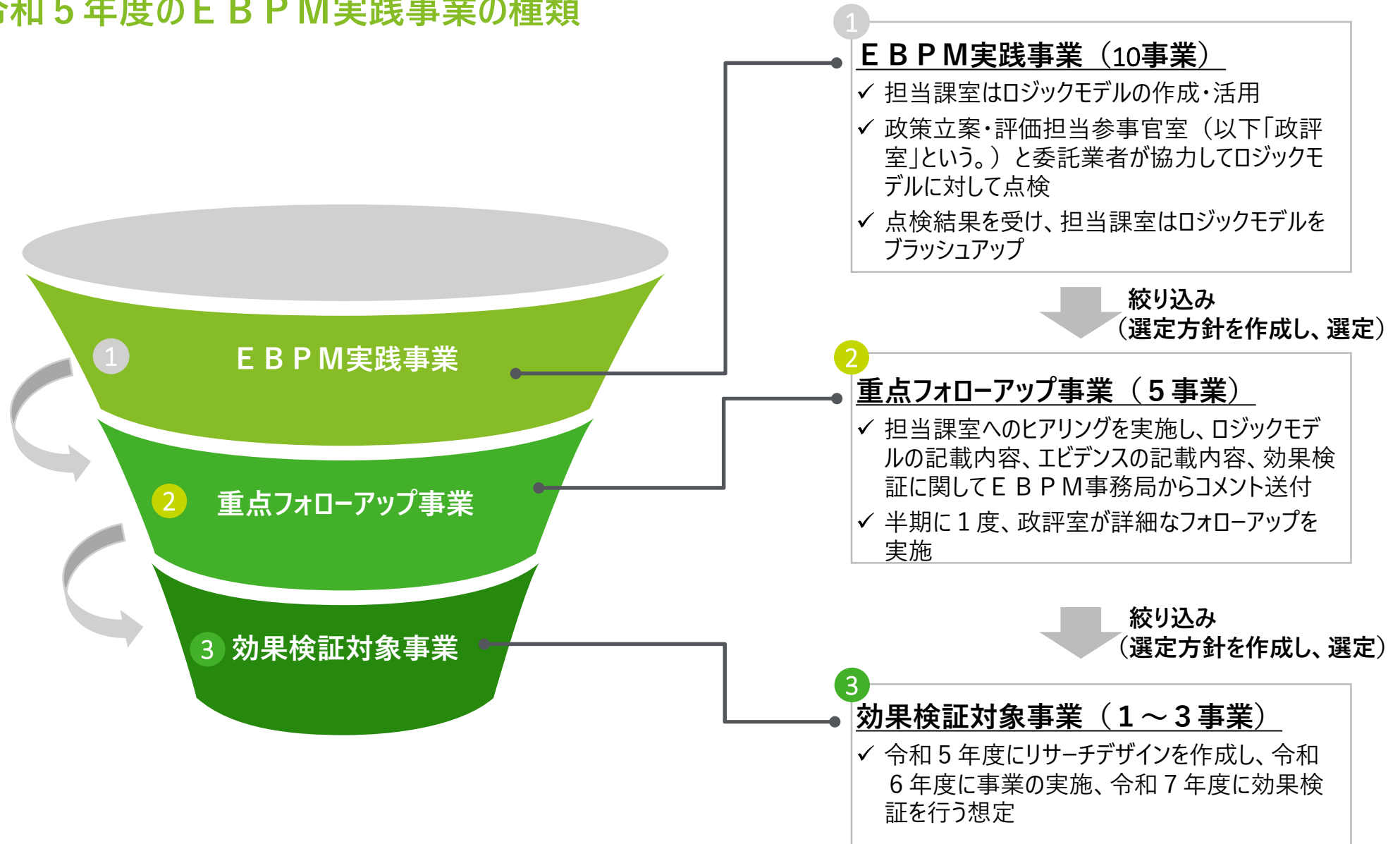
効果検証

- 令和4、5年度選定の効果検証対象事業（計3事業）のうち、「困難な問題を抱える女性支援推進等事業」について、検証作業を行う予定。
- 残りの2事業については、令和8年度以降に検証作業を行う予定。（令和7年7月～令和8年2月）

EBPM研修

- 行政事業レビューシートの担当職員を対象として、行政事業レビューシートを用いて実施する「基礎的なEBPM」に関する実践的な知識の習得等を目的とするEBPM実践担当者研修を実施する。（令和7年5月）
- EBPMに関する実務経験が少ない職員を対象として、アウトカム志向による問題解決を始め、EBPMに関する基礎的な知識を習得してもらうための基礎研修を実施する。（令和7年10月）
- EBPMの実践に取り組む職員、関心の高い職員等を対象として、政策・施策効果の考え方を始め、EBPMに関する発展的な知識を習得してもらうための応用研修を実施する。（令和7年11月）

令和5年度のEBPM実践事業の種類



内閣官房行政改革推進本部事務局の取組方針(令和6年1月30日内閣官房行政改革推進本部事務局)

- 予算事業で行っている**行政事業レビュー**において、「**基礎的なEBPM**」を**実践**する。
- **行政事業レビューシート**を「過去の事実の説明」のみならず、**政策立案や予算要求という将来に向けての「意思決定」の一環として積極的に活用する。**
- 画一的なやり方をあてはめるのではなく、**事業の性格を踏まえたメリハリをつける等、合理的・効率的なやり方で行政事業レビューシートの作成を行う。**
- 政策効果の分析等については、現場で対応できないような**高度に学術的なものをもとめるものではない。**
- 各府省は、自律的に行政事業レビューシートの品質管理を進め、事業の改善に向けた職員の意識改革・行動変容を促すため、**府省内で優良事業改善事例の選定・表彰を行う。**
- 行政事業レビュー以外の政策プロセス（規制の立案・改善、税制改正プロセスにおける税制当局への説明や各種計画・施策パッケージ等の立案・見直し）においても、EBPMの手法を活用する。

厚生労働省における令和6年度の取組方針

- 各種政策プロセス（政策の立案・評価・見直し）において「**基礎的なEBPM**」を**実践**し、より効果的な政策の立案・改善に努める。特に、予算事業については**行政事業レビューシートを活用し「基礎的なEBPM」の実践を進める※1**
 - ① 全ての行政事業レビューシートについて、品質管理を進める。特に、令和6年度に作成する予算要求に向けたレビューシートに関して
 - ・「現状・課題」欄の記述が「あるべき姿」や「ありたい姿」と現状とのギャップを明確にしており、「具体的な課題」もデータ等を踏まえて記述されているか。
 - ・「長期アウトカム」が、上記課題を踏まえ「どのような状態がその事業の目的を達成した状態だと考えているのか」が明確となるような設定がされているか。
 といった観点を主なポイントとして品質向上に努める。
 - ② さらに、来年度に向け、確認結果を踏まえた行政事業レビューシートの見直しを進める。
 - ③ 既存事業に関しては概算要求額が1億円以上の事業の中から100事業程度、新規事業に関しては10億円以上の事業を対象に、翌年度に向けた専門家による詳細な内容確認を行い、事業所管部局は当該内容確認の指摘事項を踏まえたレビューシートの見直しを行う。
- 優良事業改善事例の選定・表彰など、その他の取組について、行革事務局の方針に沿って対応していく。
- 過年度のEBPM実践事業については、ロジックモデル等の内容を更新するなどして取組を継続する※2。

※1 行政事業レビューシートを活用し基礎的なEBPMを実践する担当者を対象に、5月から6月に「EBPM実践担当者研修」を必須研修として開催

※2 令和5年度に実践事業に選定された事業については、令和7年度までフォローアップを実施

参考 E B P Mの実践のスケジュール

